

内閣総理大臣 佐藤栄作 殿

日本学術会議会長 朝永振一郎

（写送付先：科学技術庁長官、大蔵、文部
両大臣、日本私立大学協会会長、日本
私立大学連盟会長、私立大学懇話会会
長代理

私立大学に対する研究体制確立のための助成の拡大について（勧告）

標記のことについて、本会議第48回総会の議に基づき、下記のとおり勧告します。

記

本会議は、第6期において、私立大学の教育と研究の条件を至急に改善することが必要であり、このためには、「私立大学にたいして速やかに総合的助成措置をとるべきであるという結論」に達し、政府に国費による助成の勧告を行なった。この勧告の趣旨はますます重要性を増しており、したがってこの勧告が早急に実現されるように重ねて要請する。しかし、その後われわれは、わが国学術体制の観点から新しく問題を検討した結果、全国の大学教員の半数弱を占め、全国の大学生の7割の教育を担当し、数多くの研究業績を出して学術体制上重要な地位にある私立大学教員の研究条件が、いちぢるしく悪化していることが判明した。その原因が私立大学におけるさまざまな研究教育条件の不備、大局的には物価上昇にもとづく私立大学の財政難にあることはいまでもない。だが、私立大学教員の研究条件の悪化は、たんに私立大学の教育水準の低下と大学制度そのものの基盤の弱化をもたらすにとどまらない。同時にわが国学術の発展にとっても重要な影響をあたえる問題であると判断する。

したがって本会議は、政府が当面の解決策として、第6期勧告の実施に加えて私立大学にたいする研究助成強化の方途を早急に講ぜられることを勧告する。

なお、私立大学への本格的な助成にあたっては、本会議が昭和25年10月23日、「私立大学に関する立法的措置について」勧告したとおり、私立大学での教授会の地位が確立されていることが必要であることをつけくわえる。

理由および説明

(1) 大学教員のなかでの私立大学教員（四年制のみ）の占める比率（第一表）

昭和41年度における全国の大学教員の数は26,044人であり、全体の41.6%をしめている。42年度には、急速な増加が見られており、その比率はさらに高まっていると推察される。このうち大学院担当の教員は、昭和40年度で総数13,703人のうち、3,693人であり、25%弱をしめている。この比率も42年度にはさらに上昇している。大学院は国立大学の約半数が設置し、私立大学ではその3分の1、医学関係では全大学が設置するにいたっている。

これらの主要な研究分野は、社会科学、人文科学の領域に集中しているが、工学、医学の分野にもかなり高い比重をしめている。少ない分野は、化学をのぞく理学と農学である。

(2) 私立大学教員の学術業績の比重（第二表）

全国の大学教員の学術業績を、学会誌、あるいはこれに準ずるものに発表されたものととらえ、そのなかで私立大学教員のしめている比重を検討すると、学者数にしめている比重にくらべて第二

表のような状態を示している。

第二表を検討すると部門によってちがうが、全体として見るばあい、私立大学はその教員数にくらべて業績比率が国立よりやや少ない。しかし同時にこれは私立大学がわが国学術研究にとって不可欠の構成部分であるという事実を明瞭に示している。そして、この業績比率の状態には、私立大学の研究条件が反映していることを見のがせない。

(3) 私立大学の研究条件(第四表)

私立大学教育の研究条件は、良好といえない国立大学のばあいにくらべても、まったく悪い。

(A) 私立大学教員は、国立大学の約8倍の学生数をひきうけている。昭和41年度では、国立大学の専任教員1人当りの学生数は、平均12.8人であるのにたいし、私立大学のそれは医学は別であるが、文部省統計では、平均37.8人である。だが、多くの大学の実状は、これよりはるかに多い。そして学生数の多い大学がこの傾向がつよいが、さいきんでは、中規模の大学で、教員1人当り学生数の増大が目立っている。そして、教員1人当り学生数が多いほど研究は圧迫されているといわねばならない。

(B) 私立大学の教員の講義時間は多い。他大学への出講をのぞいても、週12時間から20時間は普通であり、30時間にいたるものもめずらしくない。(実験担当の時間は除外したばあいでも、これが実情である。)これが研究を圧迫するのはいうまでもない。またこのため、国公立試験研究機関との連絡交流もさまたげられている。

(C) その研究費は、諸外国に比べてきわめて少ないとされる国立大学と比べてもおどろくほど少ない。かんたんにいえば別表に見られる通り各分野それぞれケタがちがいに少ない。

(D) さらに研究補助員、事務職員についても圧倒的に私立大学は少ない。このような学生数の負担、講義時間、研究費、研究補助者等についての研究条件の悪さが、きわめて大きく、学術業績の比重に反映しているといつてさしつかえない。そして、研究条件の悪化にともなう個々の私立大学の学術水準のみならず、わが国全体の学術業績にも問題をなげかけるのは当然のことである。

(4) 私立大学における教授会の地位(第五表)

教授会の地位が確立しているか否かは、それぞれの大学における研究、教育の発展を保障するためにきわめて重要な問題である。しかし、私立大学を全体として見たばあい、いまなお、教授会が制度として確立していないところもあり、また人事権すら十分でないところもある。昨今、時によっては、教授会、の権限がつよすぎるといふ発言が見受けられるばあいもあるが、全体として見るばあい、教授会が弱すぎる点に問題があり、その責任と権限が不明確である点に問題があるといふべきである。

(5) 以上によって、私立大学にたいする研究体制確立のための助成が、わが国学術水準の発展にとって重要性をもつことは明らかである。しかし、その研究助成の具体的方法を、いかにして実行するかについては、現実の行政事務の問題にふれることでもあり、別個な機関によって審議決定されることがのぞましいと考える。

なお、私立大学の研究体制確立のための助成にあたっては、私立大学自身によつてそれを改善する努力が必要であることはいうまでもない。さらに私立大学の研究助成のために、国立大学の研究費の減少をもたらすような措置をとることは許さるべきでない点を重ねて強調する。

(附属統計) 第 一 表

主 担 当 研 究 分 野 別 教 員 数

(文 部 省 資 料)

区 分			大 学 担 当 S 3 7				大 学 院 担 当 S 4 0			
			計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立
文 科 系	人 文 科	国 語 ・ 国 文 学	893	438	73	382	146	44	8	94
		漢 文 ・ 漢 文 学					18	5		13
		中国語 ・ 中国文学	269	122	37	110	45	26	9	10
		英米語 ・ 英米文学	2344	829	182	1333	199	67	9	123
		独 語 ・ 独 文 学	930	449	73	408	111	55	15	41
		仏 語 ・ 仏 文 学	422	153	34	235	79	35	11	33
		その他の語学・文学	245	96	11	133	32	15		17
		言 語 学	72	39	2	31	28	19	2	7
		日 本 史	462	263	27	172	100	43	5	52
		東 洋 史	240	151	14	75	75	42	5	28
		西 洋 史	284	162	16	106	70	33	2	30
		史学概論・その他	17	1	3	13	3		1	2
		考古学・民族学	73	38	3	32	25	16		9
		人 文 地 理 学	172	109	11	52	33	18	4	11
		哲学(含中国哲学)	600	286	41	273	144	68	10	66
		倫 理 学	222	122	12	88	46	27	2	17
		宗教学(含印度教)	448	63	7	378	152	27	1	124
		美学美術史(含芸術学)	223	86	14	123	50	32		18
		心 理 学	734	450	54	230	110	61	6	43
		社 会 学	422	157	39	226	111	39	10	62
		教 育 学	871	576	46	249	165	134	5	26
		新 聞 学	54	14		40	16	10		6
		その他の人文学	53	12	1	40	7	1		6
		小 計	10,050	4,616	700	4,734	1,765	822	105	838
	社 会 科 学	法 学	1,275	521	81	673	474	201	38	235
		政 治 学	309	125	21	163	113	49	7	57
		経 済 学	1,524	564	147	313	477	172	80	225
		商 学	445	86	37	322	143	37	15	91
		財 政 学	115	42	10	63	47	15	9	23
		経営学(含工業経営学)	578	150	54	374	168	72	17	79
		統 計 学	132	59	9	64	48	20	3	25
		その他の社会科学	112	21	8	83	30	7	32	21
		小 計	4,490	1,568	367	2,555	1,500	573	171	756

区 分		大 学 担 当 S 3 7				大 学 院 担 当 S 4 0			
		計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立
	合 計	14,540	6,184	1,067	7,289	3,265	1,395	276	1,594
理 学	数 学	1,806	868	118	320	314	228	30	56
	天 文 学	85	77		8	32	30		2
	物 理 学	1,669	1,199	142	328	564	430	50	84
	地 球 物 理 学	235	220	2	13	84	80	2	2
	化 学	1,593	1,073	172	348	511	371	54	86
	地 質 学	324	234	16	24	88	77	8	3
	鉱 物 学	123	114	3	6	50	47	1	2
	動 物 学	462	350	57	55	123	112	9	2
	植 物 学	411	330	50	31	108	95	12	1
	地 理 学	167	112	18	37	42	19	9	14
	人 類 学	28	15	1	12	13	9	3	1
	生物学・生物化学	445	273	39	133	108	85	14	9
	科学史・科学哲学	32	13	2	17	4	3		1
	そ の 他 の 理 学	34	20	4	10	5	4		1
	小 計	6,914	4,948	624	1,342	2,046	1,590	192	264
科 系	応用物理学(含航海学)	321	246	10	65	137	109	6	22
	航 空 工 学	145	119	16	10	67	54	10	3
	機 械 工 学	1,123	710	86	327	448	318	39	91
	精 密 工 学	183	141	12	30	86	67	5	14
	原 子 力 工 学	151	118		33	79	77		2
	電 気 工 学	752	419	57	276	274	176	26	72
	通 信 工 学	253	172	14	67	123	86	9	28
	電 子 工 学	448	289	25	134	219	161	15	43
	船 舶 工 学	114	98	13	3	50	45	5	
	土 木 工 学	463	280	41	142	212	162	15	35
	衛 生 工 学	53	43		10	33	30		3
	鉱 山 学	180	165		15	89	80		9
	建 築 工 学	529	283	48	198	265	184	20	61
	金 属 工 学	524	407	29	88	291	221	16	54
	工 業 化 学	1,054	717	92	245	509	385	31	93
	化 学 工 学	278	211	31	36	154	121	13	20
	織 維 工 学	179	149	9	21	52	51		1
	そ の 他 の 工 業	148	124	1	23	62	51		11
	小 計	6,898	4,691	484	1,723	3,150	2,378	210	562

区 分			大 学 担 当 S 3 7				大 学 院 担 当 S 4 0			
			計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立
理 学	農 学	農 学	904	689	121	94	162	128	22	12
		農 芸 化 学	735	536	87	112	208	164	19	25
		農 業 經 済 学	252	172	27	53	80	62	6	12
		農 業 工 学	232	203	17	13	74	67	6	1
		林 学	376	336	24	16	84	84		
		林 産 学	111	100	8	3	41	40		1
		畜 産 学	312	239	28	45	64	54	5	5
		獸 医 学	296	195	33	68	101	58	10	33
		水 産 学	341	297	27	17	107	106	1	
		小 計	3560	2767	372	421	921	763	69	89
系	医 歯 薬 学	医 学 (基 礎)	2784	1504	584	696	1231	738	205	288
		医 学 (臨 床)	6264	3445	1210	1609	2142	1133	414	595
		薬 学	1063	363	123	577	331	208	59	64
		歯 学	962	334	86	542	285	101	6	178
		小 計	11073	5646	2003	3424	3989	2180	684	1125
		合 計	28445	18052	3483	6910	10106	6911	1155	2040
そ の 他	そ の 他	看 護 学	33	23	5	5	2	1		1
		公 衆 衛 生 学	337	142	69	126	117	58	25	34
		保 健 体 育 学	1185	591	71	523	47	42	3	2
		家 政 学	602	282	41	279	59	23	34	2
		音 楽	811	358	11	442	48	38		10
		美 術	417	256	44	117	35	28		7
		工 芸	174	115	25	34	12	11		1
		そ の 他	156	72	11	73	12	10		2
		小 計	3715	1839	277	1599	332	211	62	59
総 計			46700	26075	4827	15798	13703	8517	1493	3693

62642 31528 5075 26044

S 4 1 統 計 (%) (100) (50.3) (8.1) (41.6)

第 二 表 私立大学教授の学術業績の比重

(A) 人文科学の業績

○ 学会々員数 (人文科学) S 4 1 年現在

< 哲 学 >

< 史 学 >

< 文 学 >

① 日本哲学会

① 国史学会

① 国語国文学会

7 2 1 人

1, 1 4 7 人

1, 1 6 0 人

(国公立大 2 2 3
私 大 4 1 7
他 8 1

② 社会学会

9 8 8 人

(国公立大 3 2 5
私 大 4 0 2
他 2 6 0

③ 日本教育学会

1, 2 6 1 人

(国公立大 7 7 6
私 大 3 6 7
他 1 2 8

④ 日本心理学会

2, 6 5 0 人

(国公立大 1, 0 5 5
私 大 7 8 5
他 8 1 0

○ 学会機関紙発表論文 国公立対私大比(人文科学)

① 日本哲学会誌

(S 3 7 - 4 1)

3 4 件

(国公立大 2 4
私 大 1 0

② 日本心理学会誌

(S 3 7 - 4 1)

9 9 件

(国公立大 6 3
私 大 3 6

③ 日本教育学会誌

(S 3 7 - 4 1)

9 8 件

(国公立大 6 4
私 大 2 4
他 1 0

(国公立大 5 6 6
私 大 3 5 6
他 2 2 5

① 西料史学会

(S 3 7 - 4 1)

3 9 件

(国公立大 2 8
私 大 6
他 5

(国公立大 1 8 4
私 大 1 6 0
他 8 1 6

② 中古文学会

3 9 0 人

(国公立大 7 6
私 大 1 2 4
他 1 9 0

③ 独文学会

1, 3 0 3 人

(国公立大
私 大
他

④ 日本仏語仏文学会

8 5 1 人

(国公立大 2 8 5
私 大 4 5 6
他 1 1 0

① 日本英文学会

(S 3 7 - 4 1)

9 3 件

(国公立大 6 1
私 大 2 9
他 3

② 日本独文学会

(S 3 7 - 4 1)

8 6 件

(国公立大 5 6
私 大 2 5
他 5

口頭発表

国公立大 405 私 大 172 他 20

(B) 法学関係出版

著 書 の 数

年度	国公立大学 専任教員	私立大学 専任教員	一般官公吏 実務家等	職業・所属 不詳者	計
37	52	55	10	3	120
38	45	38	3	4	90
39	61	45	8	3	117
40	72	40	7	2	121
41	62	47	19	3	131
計	292	225	47	15	579

法 律 学 関 係 発 表

論 文 の 数

年度	国公立大学 専任教員	私立大学 専任教員	一般官公吏 実務家等	職業・所属 不詳者	計
37	532	596	392	436	1,956
38	541	422	408	461	1,832
39	519	414	432	453	1,818
40	572	434	417	475	1,898
41	561	597	439	438	2,035
計	2,725	2,463	2,088	2,263	9,539

〔備考〕 著書、論文ともに法律時報文献目録並びに全国大学職員録等による。尚、337年度では国公立大学教員は602名、私立大学教員は673名である。（文部省統計）

(C) 経済学関係の業績

（著書・論文）

昭40年5月～昭41年4月

国	立	公	立	私	立	そ	の	他	計
1,437件		269		1,704		1,088		4,498	
31.9%		6%		37.9%		24.2%		100%	

註 経済学文献季報38、39、41号及、全国学校職員録より

尚調査未了（所属者調査中）3,390件あり。

(D) 数字に見られる国公私学の研究業績の一例

1. 日米数学会欧文誌

Journal of mathematical society of Japan

1962年1月～1966年12月

論文総数 135件

内 私 学 25件

2, S37年度では国公立大学教員は986名、私立大学は320名である。

(E) 物理学国公立大学及び研究所「対」私立大学の研究報告数比較

<1966年1月～12月間発表の分>

学 会 誌 名	国公立	私 立	その他	計
1) Journal of physical Society of Japan (日本物理学会欧文雑誌)				
Tull note short note	390	22	153	565
%	69.2	3.8	27.0	100
2) Japanese Journal of Applide physics (日本応用物理学会欧文誌)				
Tull note and short note	147	7	118	272
%	54.0	2.6	43.4	100
3) 応 用 物 理 (日本応用物理学会和文誌)				
(オリジナル及び解説を含む)	101	16	45	162
%	62.3	9.9	27.8	100
注 教育版	1,341名	328名		
(昭37年)				

(F) 機械、その他工学部門の業績

全国の工学系大学及び学部(理工学部を含む)の学科に関する1961～1965の5年間に
おける学会発表数に対する論文数の割合(%)

	1) 機 械	2) 電 気	3) 化 学	4) 土 木	5) 建 築	
全国国立大	23.8	22.0	62.6	17.0	13.4	1) 発表: 機械学会年会
全国私立大	24.2	8.6	40.4	4.54	9.2	論文: 機械学会論文集
全国公立大				11.9	15.2	2) 発表: 電気四学会連合大会
国 立						論文: 電気学会誌
1	14.1	27.9	56.8	21.1	16.8	電気通信学会誌
2	38.8	30.2	53.2	∞	14.2	公立大学は全国国立大に含めた
3	37.0	10.0	41.6		17.5	3) 発表: 日本化学会年会
4			61.5			論文: 日本化学雑誌
5	33.3	10.0	80.0		11.3	工業化学雑誌
6		0	0			B C S T

	1)	2)	3)	4)	5)
	機 械	電 気	化 学	土 木	建 築
公 立					
1	14.3	11.1	44.4	22.2	4.2
私 立					
1		25.0	53.3		13.2
2	1.6	3.3	38.0	5.4	7.2
3	13.7	7.3	45.6		
4	0	0	66.7	10.0	3.3
5	17.2	6.3	9.1	∞	3.6
6	5.4	7.3	27.8	2.0	6.1
7	0	35.0	40.9	0	
8	0	3.1	33.3	∞	0
9	0	0	50.0	∞	0
10	10.7	0	0		0
11	16.7	0		0	0
12	0	13.2	50.0		
13	40.8	12.5	15.8		16.7
14	0	11.1	0		21.4
15	31.0	10.5	60.0	2.0	16.2
16	0	4.8	45.8		0

4) 発表：土木学会年会
論文：土木学会論文集
土木学会誌

5) 発表：建築学会年会
論文：建築学会誌
建築学会論文集

注：∞は発表せずに論文一つがのっていることを意味する。

全国国公立大学と私立大学とにおける（学会誌発表論文数または年会発表数）と（全教員数または大学院担当教員数）との関係（比率）を調べると次表の通りである。

		1)	2)	3)	4)	5)
		機 械	電 気	化 学	土 木	建 築
年 会 発 表 数	国公立大	2954	2630	5578	1319	1414
	私立大	306	914	897	198	98
学 会 誌 論 文 数	国公立大	699	481	3493	220	192
	私立大	74	58	359	9	9
大 学 院 担 当 教 員 数	国公立大	429	473	1026	177	204
	私立大	94	143	168	43	61
全 教 員 数	国公立大	949	976	2454	321	331
	私立大	357	477	650	142	198

		1)	2)	3)	4)	5)
		機 械	電 気	化 学	土 木	建 築
年会発表数	国公立大	6,88	5,56	5,44	7,45	6,91
大学院担当教員数	私立大	3,26	6,39	5,34	4,60	1,61
学会誌論文数	国公立大	1,63	1,02	3,40	1,24	0,940
大学院担当教員数	私立大	0,787	0,405	2,13	0,121	0,148
年会発表数	国公立大	3,11	2,7	2,27	4,10	4,27
全教員数	私立大	0,856	1,92	1,38	1,40	0,495
学会誌論文数	国公立大	0,735	0,493	1,44	0,680	0,580
全教員数	私立大	0,208	0,122	0,552	0,0635	0,0455

但し、1) 年 会：機械学会年会

学会誌：機械学会論文集

2) 年 会：電気四学会連合大会論文集

学会誌：電気学会誌及び電気通信学会誌

3) 年 会：日本化学会年会

学会誌：日本化学雑誌 工業化学雑誌 BCST

4) 年 会：土木学会年会

学会誌：土木学会誌

土木学会論文集

5) 年 会：建築学会年会

建築学会論文集

に'61より'65までに発表されたものによる。

電 気 関 係 ('65)

私 大	発 表 数	専 任 平 均 持 時 間	助 手 平 均 持 時 間	学生数 教員数	助 手 数
A	96(7.3)	7.94	1.18	31	16
B	42(4.8)	6.00	日 勤 制	102	15
C	20(35.0)	9.17	0	41	5
D	16(12.5)	7.19		62	9
E	10(0)	5.00			?
F	5(0)	5.27		23	7
G	3(0)	8.05	8.00	94	6

国立大	発 表 数	専 任 平 均 持 時 間	助 手 平 均 持 時 間	学生数 教員数	助 手 数
W	20 (10.0)	3.30	3	22	13
X	54 (11.1)	2.25	0	16	17
Y	182 (30.2)	1.99	0	20	37
Z	337 (18.7)	2.57	0.315	7	42

助手数の()は研究助手のみ、実験助手は含まず

発表数の()は学会誌論文数の%

発表数は最近5年間の総数

(a) 獣医学系大学の昭和39～41年度の獣医学会での発表数

		39			40			41		
		① 教員数 A	④ 発表数 B	比率 $\frac{B}{A}$	② 教員数	発表数	比 率	③ 教員数	発表数	比 率
国 立	1	45	⑤ (1) 31	0.69	43	(1) 22	0.51	44	(1) 31	0.70
	2	20	(1) 8	0.40	22	(1) 8	0.36	23	(2) 11	0.46
	3	15	(1) 13	0.87	14	(1) 8	0.57	15	16	1.11
	4	34	(6) 17	0.50	34	(2) 16	0.47	35	(4) 22	0.63
	5	20	(3) 6	0.30	20	(1) 9	0.45	20	6	0.30
	6	12	4	0.33	13	(2) 7	0.54	16	6	0.37
	7	17	8	0.47	18	7	0.39	19	7	0.37
	8	5	5	1.00	14	5	0.36	15	4	0.27
	9	12	(3) 7	0.58	10	(1) 1	0.10	14	5	0.35
	10	12	(4) 4	0.33	13	(1) 1	0.08	14	4	0.29
	小計	192	103	0.54	201	84	0.42	215	112	0.52
公立	1	38	(3) 8	0.21	40	12	0.30	39	17	0.44
私 立	1	33	(1) 16	0.49	35	(1) 12	0.34	33	(2) 14	0.42
	2	17	(2) 14	0.82	24	(2) 14	0.58	26	0	0.77
	3	33	(1) 20	0.61	36	(6) 8	0.22	38	(3) 15	0.39
	小計	83	50	0.60	95	34	0.36	97	49	0.51
合計 総数		813	$\frac{161}{370}$	0.51	836	$\frac{130}{321}$	0.39	851	$\frac{178}{408}$	0.51

注 ①②③

畜産技術者名簿40、41、42年度版による。

④ 連名の場合は

筆頭者の所属のみ

⑤ ()内は他機関との協同研究で 筆頭以外のもの

⑥ その年度の総発表数

参考

獣医学系大学の総発表数に対する割合は

$$39年 \frac{161}{370} \Longrightarrow 44\%$$

$$40年 \frac{130}{321} \Longrightarrow 40\%$$

$$41年 \frac{178}{403} \Longrightarrow 45\%$$

G) 資料(農学関係)

1. 農学関係(獣医・水産を除く)の学部数

国 立	公 立	私 立	計
31	4	7	42

備考

ほかに公立短大3

2. 大学所属教官など(助手 大学院学生を含む)の研究発表の例

a、植物病理学の分野(最近5カ年の平均)

	総 数	そのうち、大学関係		
		国 立	公立(含短大)	私 立
学会大会における発表	175.0	44.0	8.8	4.0
地域部会におまる発表	145.0	41.0	9.8	1.8
学会誌掲載・論文	34.4	13.0	1.8	0.2
論文 論説総数(講演要旨を除く、3カ年)	279.3	53.3	10.0	1.3
[教授、助教授常勤講師数]		50	13	9(?)

b、応用動物昆虫学の分野(3カ年平均)

	総 数	そのうち、大学関係		
		国 立	公 立	私 立
学会大会における発表	191.7	49.0	2.7	4.7
[教授 助教授 常勤講師]		52	8	10(?)

c、作物学の分野(4カ年平均)

	総 数	そのうち、大学関係		
		国 立	公 立	私 立
作物学会における発表	91.3	36.3	10.5	2.0
学会誌掲載論文	44.3	26.3	2.5	0.5

d、医学関係の学会発表実績

	生 理	内 科	総 会	計	研 究 者 数
1968年					
国(24)	151	78	320	549(68%)	5,005(55%)
公(9)	33	23	46	102(13%)	1,302(14%)
私(13)	52	35	70	157(19%)	2,456(32%)
計	236	136	436	808	9,263

1967年

国 155(57.4%) 147(57.9) 603(70.3)
 公 41(15.2) 41(16.1) 115(14.8)
 私 74(17.4) 66(26.0) 126(14.9)

1967年医学総会発表実績

	生 理	内 科	総 合	解剖学会	日本精神 神経学会	日本公衆 衛生学会	循 環 器	日本内分 泌 学 会	日本小児 科 学 会
国 立	57.4% 155	57.9% 147	70.3% 603	59.3% 70	56.3 58	38.7 212	62.0 147	65.2 268	78.2 25
公 立	15.2 41	16.1 41	14.8 115	13.6 16	0.9 1	12.9 68	6.3 15	9 34	3.1 1
私 立	27.4 74	26.0 66	14.9 126	21.7 32	15.6 16	17.9 98	23 55	12.8 44	12.5 4
病 研					27.2 28	31.0 170	8.7 21	13.0 50	6.2 2

	日 本 産 婦 人 科 学 会	日 本 外 科 学 会	日 本 整 形 外 科 学 会	日 本 眼 科 学 会	日 本 血 液 学 会	日 本 気 管 食 道 学 会	日 本 耳 鼻 科 学 会	日 本 薬 理 学 会	
国 立	26.5% 32	50.8% 98	39 % 64	59.8% 58	64.8% 198	39.3% 52	51.9% 70	49.6% 51	54.3%
公 立	5.8% 7	13.4 26	13.9 23	11.4 11	7.2 22	12.2 16	11.1 15	13.6 14	10.6%
私 立	24.8% 30	19.7 38	19.4 32	23.6 23	14.7 45	25 33	21.5 29	27.1 28	20.4%
病 研	42.9% 52	16.1 31	27.7 46	5.2 5	13.3 41	23.5 31	15.5 21	9.7 10	14.7%

附属統計 第三表 私立大学の研究条件

(A) 設置者別在学者数比率推移(%)

年次	国立	公立	私立
1952	39.3	4.4	56.3
'53	38.0	4.7	57.3
'54	36.8	4.7	58.5
'55	35.5	4.8	59.7
'56	34.7	4.7	60.6
'57	33.6	4.6	61.8
'58	32.8	4.6	62.6
'59	32.0	4.6	63.4
'60	31.0	4.6	64.4
'61	29.9	4.5	65.6
'62	28.6	4.4	67.0
'63	27.1	4.4	68.5
'64	26.4	4.2	69.4
'65	25.4	4.1	70.5
'66	24.6	4.1	71.3

注) 出所は文部省「日本の教育統計」
ただし'66のみ「文部統計速報」

(B) 専任教員1人あたり学生数(人)

年次	国立	公立	私立
1952	16.3	10.0	37.8
'53	12.2	10.4	11.0
'54	12.3	10.3	39.9
'55	12.4	10.1	39.7
'56	12.3	10.6	39.2
'57	12.2	10.4	38.3
'58	12.0	10.3	37.4
'59	12.0	10.3	36.0
'60	11.9	10.4	35.6
'61	11.9	10.7	36.2
'62	12.0	11.0	37.1
'63	12.0	11.4	38.3
'64	12.2	11.7	37.2
'65	12.5	12.4	38.1
'66	12.8	13.6	37.8

注) 教員には助手をふくまないで算出した概数

(C) 私立大学学生・教員数推移(S35~S41)

大 学	S 3 5			S 4 1		
	学 生 数	教 員 数	1人当り	学 生 数	教 員 数	1人当り
国立 1	5,186	1,092	4.7	7,369	1,439	5.1
" 2	6,538	1,470	4.4	8,072	1,843	4.4
" 3	9,555	2,345	4.1	12,227	3,403	3.6
" 4	2,137	139	15.3	2,696	162	16.6
" 5	6,857	1,475	4.6	9,783	2,084	4.7
" 6	4,315	1,177	3.6	6,956	1,595	4.4
" 7	5,982	176	8.4	6,340	875	7.1
" 8	5,564	1,161	4.7	7,070	1,395	5.1
公立 1	1,909	377	5.1	2,826	490	5.8
" 2	3,900	713	5.5	5,627	798	7.1
私立 1	(S40)			248	31	8.0
" 2	2,249	26	86.6	4,571	51	91.1
" 3	248	131	1.9	628	240	2.6

大 学	S 3 5			S 4 1		
	学 生 数	教 員 数	1人当り	学 生 数	教 員 数	1人当り
私立 4	2 7 7 2	7 8	3 5.6	6 7 5 4	1 6 5	4 1.0
5	(S 4 0)			6 0 0	5 9	1 0.2
6	2 9 3 2	9 0	3 2.6	5 2 8 4	1 5 4	3 4.2
7	(S 4 0)			2 2 5	2 3	9.7
8	2 6 1 3 0	1 0 2 9	2 5.4	5 2 2 9 9	1 5 6 3	3 3.5
9	6 0 5	6 1 1	7 1.0	6 4 8	2 6 6	2.4
10	1 6 6 9	4 1	4 0.7	2 4 4 4	6 1	4 0.1
11	9 2 4	1 3 0	6.8	9 6 3	1 5 3	6.3
12	2 7 7	2 7	1 0.3	4 6 7	2 6	1 7.9
13	2 3 8 5	1 2 8	1 3.7	3 0 3 3	1 7 7	1 7.1
14	4 8 4	3 2	1 5.1	6 6 3	4 6	1 4.5
15	2 4 5	1 7	1 4.4	1 0 0 4	2 3	4 5.3
16	1 9 6 6 1	2 7 3	7 1.3	2 7 7 0 8	3 3 4	8 3.0
17	6 0 9	5 2	1 1.5	9 0 5	6 3	1 4.3
18	2 2 5 6	1 0 8	2 0.9	1 2 0 3 4	4 3 3	2 7.8
19	5 1 4 4	1 7 5	2 9.4	1 5 5 8 9	3 4 9	4 4.7
20	4 7 8	2 2 7	2.1	5 9 5	2 9 7	2.0
21	3 4 7 4	1 0 3	3 3.8	9 2 4 7	2 7 2	3 4.0
22	4 1 0 6	1 3 6	3 0.2	5 9 7 5	1 9 7	3 0.2
23	1 2 0 4	3 4	3 5.5	1 6 4 6	1 1 4	1 4.4
24	3 8 8 7	3 5	1 1 1.0	7 7 4 1	6 8	1 1 3.8
25	1 5 2 3	8 9	1 7.2	6 2 9 5	2 0 1	3 1.3
26	8 5 6	1 6 8	5.1	9 6 1	2 0 5	4.7
27	1 0 9 5	5 1	2 1.5	1 7 1 2	9 3	1 8.4
28	3 2 1	2 7 2	1.2	4 2 6	2 7 9	1.5
29	4 0 7	2 0 2	2.0	6 3 0	6 4 3	1.0
30	2 4 5 0 1	3 9 6	6 1.9	2 9 7 4 4	4 5 6	6 5.3
31	8 2 7 1	2 6 3	3 1.4	1 0 0 3 8	3 2 5	3 0.9
32	2 4 1 3	9 8	2 4.8	5 0 5 2	1 3 3	3 8.0
33	3 1 1 6 8	6 6 5	4 5.9	3 9 7 7 5	8 7 9	4 5.3
34	3 6 1 8	1 0 7	3 3.8	5 0 0 8	1 6 0	3 1.3
35	6 5 2	9 7	6.7	1 0 5 1	8 5	1 2.4
36	2 4 7 5	5 8	4 2.7	3 8 6 4	5 9	6 5.5
37	6 3 2	6 3	1 0.0	2 3 6 1	2 0 1	1 1.8
38	9 4 1	4 4	2 1.4	1 0 7 9	5 8	1 3.6

大 学	S 35			S 41		
	学 生 数	教 員 数	1人当り	学 生 数	教 員 数	1人当り
私立 39	1,382	47	29.4	1,788	51	35.1
40	2,433	109	22.2	3,930	156	25.2
41	19,095	641	30.8	23,785	929	25.6
42	2,957	116	25.5	6,484	176	36.8
43	5,900	114	50.8	11,483	189	61.8
44	708	97	7.3	1,132	138	8.2
45	644	36	17.9	8,015	242	33.2
46	2,161	56	38.6	6,514	140	46.6
47	4,951	158	31.3	9,777	237	41.2
48	1,042	38	27.5	2,964	91	32.6
49	1,233	57	21.7	2,185	92	23.8
50	(S37)			1,559	165	9.7
51	30,888	383	80.7	32,584	481	67.7
52	4,297	87	48.9	9,445	128	73.8
53	2,326	175	13.3	4,111	305	13.5
54	422	152	2.8	873	237	3.7
55	1,129	68	16.6	1,636	71	23.0
56	3,362	195	17.3	6,208	391	15.9
57	1,222	62	19.7	1,489	82	18.2
58	532	231	2.3	859	281	3.3
59	1,331	42	31.7	3,556	152	23.4
60	750	74	10.1	1,144	49	23.4
61	1,865	53	35.2	2,551	71	35.9
62	5,433	102	53.3	12,767	190	67.2
63	5,217	175	29.8	9,781	211	46.3
64	2,758	127	22.7	5,304	163	32.6
65	433	70	6.2	573	49	11.7
66	737	73	10.1	3,124	150	20.8
67	4,407	101	43.7	9,350	131	71.4
68	337	48	7.0	2,165	113	19.2
69	276	19	14.5	1,014	42	24.2
70	5,403	161	33.6	9,489	263	36.1
71	12,926	254	50.9	18,766	347	54.1
72	13,072	223	58.6	19,557	283	69.1
73	1,117	66	16.9	5,247	151	35.9

大 学	S 3 5			S 4 1		
	学 生 数	教 員 数	1人当り	学 生 数	教 員 数	1人当り
私立 74	(S 4 0)			1 0 5 0	7 6	1 3.8
75	1 7, 1 4 2	2 2 5	7 1.3	2 0, 3 8 2	3 0 4	6 7.0
76	2 2 6	1 2 4	1.8	4 4 0	1 7 8	2.5
77	2, 5 9 9	4 3	6 0.4	7 0 8 0	7 5	9 4.3
78	9 4 9	1 5 1	6.3	1, 1 7 1	2 0 0	5.9
79	5, 0 8 2	2 4 3	2 0.9	1 3, 2 7 0	4 8 9	2 7.2
80	9, 1 8 2	2 4 1	3 8.1	1 2, 6 8 8	2 9 4	4 3.2
81	2, 6 7 7	1 2 6	2 1.2	5, 4 6 5	1 6 0	3 4.2
82	(S 3 9)			2 9 5	3 6	8.2
83	(S 4 1)			1 8 2	1 7	1 0.1
84	6 5 8	3 6	1 8.3	1, 1 8 3	5 1	2 3.2
85	1, 4 5 2	3 5	4 1.5	2, 7 8 0	5 5	5 0.6
86	1, 4 1 5	2 9 7	4.8	2, 3 1 1	2 3 0	1 0.5
87	5, 3 6 6	1 0 2	5 2.6	1 0, 8 3 5	2 1 6	5 0.2
88	2, 3 2 1	6 1	3 8.1	4, 5 8 6	1 0 9	4 1.9
89	1 2 6	2 4	5.3	3 0 5	3 5	8.8

D) 私立大学教員の授業担当時間について

i 文科系教員週平均担当時間 (S 3 6 - 4 1 の推移)

大 学	学 生 数 (S 4 0)	教 授		助 教 授		講 師	
		S 3 6 / 4	S 4 1 / 7 責任時間 専門: 語学	S 3 6 / 4	S 4 1 / 7 責任時間 専門: 語学	S 3 6 / 4	S 4 1 / 7 責任時間 専門: 語学
私立 1	39,775	15.4	14.54 [8 : 8]	16.6	14.60 [8 : 8]	15.0	13.95 [8 : 8]
" 2	23,785	12.0	13.65 [8 : 12]	12.0	12.65 [10 : 12]	13.0	13.0 [10 : 12]
" 3	33,163	13.0	16.4 [10 : 10]	11.0	15.3 [8 : 8]	9.0	14.0 [6 : 6]
" 4	28,064	17.3	15.27 [8 : 10] クラス	18.1	27.64 [8 : 10] クラス	18.8	32.79 [8 : 10] クラス
" 5	10,038	10.7	14.4 [10 :]	9.8	14.3 [10 :]	7.1	13.2 [10 :]
" 6	29,774		18.8 [8 : 10]		14.9 [6 : 8]		16.6 [6 : 8]
" 7	12,767		[12 : 14]		[12 : 14]		[12 : 14]

大 学	学 生 数 (S40)	教 授		助 教 授		講 師	
		S36/4	S41/7 責任時間 専門：語学	S36/4	S41/7 責任時間 専門：語学	S36/4	S41/7 責任時間 専門：語学
私立 8	15,589		2 ~18 [10:10]		2 ~16 [8: 8]		4~16 [8: 8]
" 9	2,535		8.8~11.2 [10:12]		8.8~11.2 [10:12]		8.8~11.2 [10:12]
" 10	3,124		[12:14]		[12:14]		[12:14]
" 11	20,552	13.5	13.5 (理23.5)	12.4	13.8 (理23.7)		10.9 (理26.0)
" 12	12,688	14.0	13.1	11.7	12.6	10.8	10.6
" 13	18,766	14.4	13.6	14.6	12.5	9.5	12.7
" 14			13.0		14.5	13.8	17.5
国立 1	7,368	5.6		5.7		4.0	
" 2	8,072	6.3		5.7		3.0	
" 3	8,586	10.8		4.8		3.1	
" 4	2,084	8.0		6.0		4.0	
" 5	1,395	6.5		—		—	

[註] S36/4……慶応大調査 S41/7……東京私教連及日教組私学部の調査

ii 私立大学教員（本務者）の毎週授業時数について（今回の調査表による）

		専 門 科 目				一 般 教 養 科 目 等			
		講 義		実 験		一般教養		外国語	
		平 均	最 高	平 均	最 高	平 均	最 高	平 均	最 高
学 生 教 師 の	1	12.0	22	8.8	22	11.6	20	15.9	24
	政	14.7	22			14.3	20	17.2	24
	法	12.2	18			12.0	12	16.5	22
	文	12.3	22			11.1	16	15.2	24
	教	13.5	22			13.0	16	18.8	22
	商	14.8	22			13.6	16	15.3	24
	理	10.0	20	8.8	22	10.0	16	15.3	24
	社	9.3	18			12.0	18	14.2	22
	2	16.8		7.6		16.7		18	

		専 門 科 目				一 般 教 養 科 目 等			
		講 義		実 験		一般教養		外 国 語	
		平 均	最 高	平 均	最 高	平 均	最 高	平 均	最 高
非 常 に 多 い 大 学	法	1 2.8	2 6			1 4	1 4	1 5.2	1 8
	商	1 6.8	2 6			1 6	2 2	1 5.6	2 2
	政	1 6.8	2 6			1 6.7	1 8	1 5	1 8
	文	1 5.2	2 4			1 5	2 0	1 8	1 8
	工	1 5.0	3 3	5.1	6	7.6	1 6	1 4.9	1 6
	農	1 5.8	2 4	7.6	1 2	8	1 6	1 6.7	1 8
	経営	1 3.9	2 4			1.6	1 8	1 7.3	2 2
	3	1 2.4	2 6	5.6	1 2	9.9	2 6	1 6.5	4 0
	法	1 0.6	1 6			4	4		
	文	1 1.4	2 6			4.6	8	9.2	1 4
	経	1 2.9	1 4						
	社	1 1.9	1 6			4	6		
	経営	1 4.1	2 2						
	工	1 1.2	1 9	5 6	1 2	5.2	1 0	8.0	8
	第一教養	5.1	1 2			1 2.9	2 6	1 7.2	4 0
	第二教養	6.4	1 0			1 3.4	2 2	1 8.0	3 0
	4					1.0	1 7	1 0.9	1 4
	文	1.8	1 9	4.5	1 2				
	経	7.7	1 4						
	理	1 1.1	2 4	物 1 6.2	2 4				
	社	1 2.8	2 0	化 1 2	1 2				
	法	5.3	1 0	2	2				
	5								
	法	5.2	1 0			2.0	4	9.6	1 8
	経	6.0	1 2			2.4	4	9.0	1 2
	商	6.4	1 0			2.4	4	9.0	1 2
	理工	9.1	1 9	2.0	4.0	4.2	1 2	1 0.0	1 4
	文	4.8	1 2			3.0	6	5.2	1 2

- ・ 学生数が多いほど、全般的に持時間が増大している。
- ・ 理工系の持時間（実験を含む）が特に多いことが目立つ。
- ・ 外国語関係教員へのしわよせ。
- ・ 責任時間の超過が目立っている。〔実時間との差が大〕
- ・ 助教授、講師へのしわよせ。
- ・ 教員 1 人当りの学生数が、増加の傾向。

		専 門 科 目				一 般 教 養 科 目 等			
		講 義		実 験		一般教養		外国語	
		平 均	最 高	平 均	最 高	平 均	最 高	平 均	最 高
S 3 6 7 S 4 1 間 に 学 生 数 が 急 増 し た 大 学	6	1 0.8	1 4.6			9.1	1 0.4	1 8.4	2 0.8
	経	9.4	1 6			3.5	1 0	1 6	2 2
	法	9.6	2 0			9.1	1 0	1 8.4	2 0
	経営	7.4	1 5			9	1 2	1 7.1	2 6
	商	1 0.8	1 8			4	8	1 6.5	2 0
	文	3.3	4			6.2	1 2	1 0.7	1 6
	7	5.7	1 2	4.7	1 5	1 0.2	1 4	1 3	2 0
	文	1 1.1	1 8						
	経	1 0.3	1 4						
	経営	9.5	1 4						
	法	9.5	1 3						
	社	1 0.7	1 6						
	工	5.7	1 2	4.7	1 5	9.2	1 6	1 3	1 6
	9	7	9	4	6				
	文	1 0	1 2	8	1 0				
	法	6	8	2	4				
	経	6	8	2	4	1 4	2 2	1 4	1 6
	10								
	商	1 3	2 4						
	経	1 5	2 0						
	法	7	1 6						
	教養					1 2	2 4	1 5	2 4
	11	7.8	1 6	6.2	1 9	2.0	4	7.3	1 2
	人文	5.5	1 0			2.4	4	7.3	1 2
	法	7.2	1 0			1	1		
	経	6.8	1 0			1.4	2		
	理	1 2.7	3 6	8.3	1 8	3.3	1 0		
	工	6.9	1 7	4.2	2 1	—	—		

- ・ 急速に持時間が増加してきている。
- ・ 本調査にはないが、非常勤教員が極度に増加している。
- ・ 一般教養へのしわよせ。
- ・ 助教授、専任講師へのしわよせ。